

各 位

会 社 名 株式会社 CARTA HOLDINGS
 代表者名 代表取締役会長 宇佐美 進典
 (コード番号：3688 東証第一部)
 問合せ先 取締役 CFO 永岡 英則
 (TEL. 03-4577-1453)
 (URL. <https://cartaholdings.co.jp/>)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年10月16日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月14日の2019年12月期第1四半期決算発表時に開示した2019年12月期(2018年10月1日～2019年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2018年10月1日～2019年12月31日)

	連結売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	EBITDA (注1)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,000	百万円 2,500	百万円 2,500	百万円 1,600	百万円 3,900	円 銭 70.54
今回修正予想(B)	26,000	3,500	3,500	1,800	4,500	86.32
増減額(B-A)	0	1,000	1,000	200	600	15.78
増減率(%)	0.0	40.0	40.0	12.5	15.4	22.4
(参考)前期連結実績 (2018年9月期)	28,518	1,420	1,431	1,117	2,478	93.58

(注1) 当社は、経営上の重要な指標として EBITDA(利払い前・税引き前・償却前利益)を用いております。

EBITDA は、税金等調整前当期純利益に支払利息、減価償却費、償却費及びのれん償却費を加えた金額です。

(注2) 2019年12月期は決算期変更により15ヶ月間の変則決算となっております。

2. 修正の理由

連結売上高につきましては、コンシューマー事業における新規事業が計画していたほどには立ち上がらなかったものの、パートナーセールス事業において自動車メーカーや飲料メーカーなどのナショナルクライアントからの出稿が想定以上となり売上高が計画を上回ったため、全体としては前回発表予想通りで進捗しております。連結売上総利益につきましては、上記の売上高要因により、売上総利益率の高いパートナーセー

ルス事業の構成比が計画よりも高まったため、連結売上総利益率が想定よりも改善する見込みとなっております。また、連結販売管理費につきましては、コンシューマー事業のプロモーション活動を積極的に展開することを計画していましたが、事業展開に合わせてプロモーション計画を精査したところ、広告宣伝費が想定を下回る見込みとなっております。その結果、連結営業利益は前回発表予想を上回る見込みとなっております。連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及びEBITDAにつきましても、上記の理由により、前回発表予想を上回る見込みとなっております。

なお、配当金につきましては、1株当たり中間配当8円及び期末配当8円の合計16円を予想しており、2019年2月14日に公表した内容からの変更はございません。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上